



こいたばし じゅん

## 小坂橋 淳 氏

生年月日 昭和 13 年 4 月 24 日生

住 所 田辺市むつみ

昭和 13 年 (1938 年) 4 月 24 日、和歌山市に生まれる。

就職した銀行では、和歌山地区・大阪地区・事務管理部に在籍し、休日には周辺の山や峠道を歩く。

当時の上司に、常に時代の先を読んで目標を持って行動することを教えられ、自身が退職する頃日本は高齢化社会を迎え、20 年近い余暇を持って余す健康な高齢者であふれる社会になると予測し、折から銀行も完全週休二日制になり、この余暇を何とか世間の人たちの役に立てるように使いたいと、休眠状態の「田辺アルコウ会」を復活させる。

また、歩く楽しさを知ってもらうために、11 年余りにわたり、「紀伊民報」紙上に山歩きのコース紹介を連載する。

熊野地方には、信仰や雨乞いの対象としてあがめられた滝が多いものの、近年過疎化による山間集落の消滅などにより、奥地に通じる古い道が消えるなど、滝の存在が忘れ去られようとしている中、氏が山歩きの中で見てきた滝を記録にとどめることによって、貴重な自然を少しでも知ってもらおうと、平成 13 年 (2001 年) に『紀州の滝 340』を発刊する。

さらに、紀州にある峠のうち 158 箇所を再度調査した上で、熊野古道などを中心に、一般の方々でも安心して歩ける峠道 50 を選定して、峠の魅力を紹介かたがた、峠歩きのガイドブックとして『紀州・熊野の峠道』を平成 22 年 (2010 年) に発刊する。

古道の一つに、熊野の東西を最短で結ぶ古座街道がある。古座街道といえば、近年では司馬遼太郎が『街道をゆく』で著された道、すさみから佐本へ抜ける大辺路のう回路を思い浮かべる人が多いが、江戸期の本来の古座街道 (熊野中道) は昭和 30 年 (1955 年) 頃から歩かれなくなり、人々の記憶からも消えていった道である。

熊野中道古座街道 (上富田町朝来～古座川口の約 70 km) を復興させようとする氏の姿を目の当たりにして、周辺地域の人たちの気運も高まり、あしかけ 5 年にわたる復元整備が進展した。また、平成 26 年 (2014 年) 3 月『熊野中道古座街道』(増補改訂版) を発刊。同年秋から大阪にある大手旅行会社にも、「熊野中道古座街道」を街道ウォークとして取り上げられている。

氏は平成 26 年 (2014 年) 現在も、紀伊半島の古道を巡り、和歌山県観光ガイド専門員「紀州語り部」として、歴史・文化をテーマに山や熊野古道を案内するとともに、

## 第 45 回 (平成 26 年)

古道を守り後世に伝えるために歩き続けている。

### (略 歴)

昭和 32 年 (1957 年) 3 月	和歌山県立田辺高等学校卒業
昭和 32 年 (1957 年) 4 月	紀陽銀行に入行
昭和 34 年 (1959 年)	「田辺アルコウ会」に参加
昭和 38 年 (1963 年) 10 月	山口国体山岳競技に選手として出場
昭和 46 年 (1971 年) 10 月	和歌山国体山岳競技に設営隊長として参加
平成 元年 (1989 年) 2 月	紀伊民報に『紀の国万歩』『紀州の滝』『紀州の峠』『紀州折々』と題して 129 回連載
平成 4 年 (1992 年) 2 月	休眠状態の「田辺アルコウ会」を復活させる
平成 4 年 (1992 年) 10 月	全日本登山体育大会・中辺路コースを主管
平成 9 年 (1997 年) 3 月	紀陽銀行を退職
平成 9 年 (1997 年) 4 月	和歌山県観光ガイド専門員 紀州語り部に就任
平成 13 年 (2001 年) 9 月	『紀州の滝 340』を発刊
平成 19 年 (2007 年) 4 月	市民登山大会 (於: 竜神山・三星山) を田辺観光協会と共催し、副会長としてコース設定・語り部を務める
平成 22 年 (2010 年) 1 月	『紀州・熊野の峠道』を発刊
平成 26 年 (2014 年) 3 月	『熊野中道古座街道・四つの峠道と石仏を巡る』(増補改訂版) を発刊

### (その他主な著書等)

- 『紀州の山々』(共著・創元社)
- 『大峰・台高・紀伊の山』(共著・山と溪谷社)(紀伊の山を執筆)
- 山岳雑誌「山と溪谷」への執筆(平成元年2月～平成18年7月 合計56回)
- 『大塔山系大杉大小屋国有林・黒蔵谷国有林自然環境調査報告書』に大杉谷・黒蔵谷の滝と地形を執筆(平成14年3月発行)

### (その他の職歴・活動等)

- ・商業近代化田辺地域部会(中小企業庁委託事業)に事務局員として参加し、13 種目の調査を銀行のコンピューターで集計後、分析を行う(昭和53年4月～昭和54年3月)
- ・大塔村森林林相づくり構想策定委員会に参画(平成8年5月～平成9年3月)
- ・伊能ウォーク田辺・印南間コース設定と案内(平成11年11月)
- ・大塔山頂保全検討会へ市民代表として参加(平成19年8月～平成26年11月)
- ・「田辺アルコウ会」では市民の健康増進のため、会員の例会に留まらず一般からの公募行事を行う
  - ① 近県へバスツアーウォーク(平成5年～平成13年)
  - ② 信州等への夏山登山ツアー(平成9年～平成14年)
  - ③ 小辺路ウォーク(平成16年10月～平成17年3月)
  - ④ 滝巡りシリーズ(平成14年6月～平成17年10月)
  - ⑤ 市民登山大会(田辺観光協会と共催)